

地域会議でなく、地域協議会の活性化とまちづくり委員会を

質問 総合計画に地区別計画を掲載することを要求してきた。しかし、土地利用を基本構想に明記してきた。これでは基本構想といえないのでは。

市長 基本構想の土地利用をもとに平地・山間地に分けて実施計画を策定している。

質問 平地・山間地に分類してまちづくりを行うには、歴史・文化・伝統を考えると無理があると思うが。

市長 それらを考慮して丁寧なまちづくりを行う。

質問 地域自治区の地域協議会に代わるものは。

市長 『地域会議』を自治区廃止後に設置を考えている。地区振興会を中心にする場合やNPOを中心にする場合等がある。自由で柔軟な運営に基づき、それを自治基本条例に位置付ける。

質問 地域協議会は、市長の諮問機関として重要な位置を持っている。『地域会議』はその位置を持っていない。

『地域会議』ではなく、地域協議会の活性化と同時に『まちづくり委員会』を作り、自由で柔軟な市民意見を市政運営に反映すべきだ。その位置づけを自治基本条例で定めるべきと思うが。

市長 見解の相違もあるが、共通性もある。今後検討が必要である。

ささらホールの改修を急ぐべき

質問 奥州市にある4文化会館は行革の対象となっているがどうするのか。

市長 慎重に検討しているため時間がかかっているが、さらに検討を進める。

質問 江刺体育文化館(ささらホール)の改修に係る要望書をどうするのか。

市長 重要度や緊急度を考慮して改修を検討する。

質問 ささらホールの指定管理は、平成30年3月までであり、29年9月頃までにはつきりさせ、指定管理料や暖房等の改修も急がなければならないが。

市長 できることは、早急に行う。暖房については、来シーズンに向けて対応を急ぐ。



改修が急がれるささらホール



いづみ 及川 議員(奥和会)

児童虐待の相談について専属の職員を配置すべき

質問 法律の改正で、今年4月から児童虐待の通報や相談が、児童相談所から回ってくるため、奥州市としても専門的な対応が求められると考える。

専任の職員を配置し市の窓口の体制を強化とすることが必要と考えるがその考えがないか伺う。

市長 児童虐待件数は、平成27年度は前年度比1・4倍に増え、複雑・困難なケースが増えている。家庭児童相談員兼婦人相談員をひとり増員する。専任の職員の必要性については検討する。

他地区への高校進学・流出に対する対策を求める

質問 新高校生が地区外に多く流出するのは地域の将来にとって大きな問題だ。地区内の高校を訪問し、実態の把握をすること、新高校生にとって魅力のある高校にしていけることが必要であると考えますがその考えがないか伺う。

市長 平成27年度は、管外への進学は1150名のうち239名で高校生流失は20・8

%にのぼっている。この問題について、分析が可能かデータを収集してみたい。

教育委員長

他地区への進学について高校側も悩んでいる。平成27年度のアンケート調査の結果は、「学びたい学科がある」と「進学就職に有利」と答える生徒が県平均より高く、一方「地元の学校だから」とする生徒が県平均の半分となっている。このブロック(胆江)は、すべての学科がそろっており恵まれていると思う。なぜなのか分析しながら、市の教育委員会としてできる範囲で高校と一緒に努力したい。

進学先として選択する最も大きな理由

	(単位:%)	
	全県	胆江
学びたい学科があるから	20.7	22.2
部活動が盛んだから(希望する部があるから)	15.0	15.2
進学・就職に有利だと思うから	40.8	44.7
地元の学校だから	11.4	6.2
働きながら学べるから	0.4	0.0
家族・親・先生が進めてくれるから	4.3	4.3
わからない(なんとなく)	4.9	5.7
その他	2.5	1.6

「平成27年度中学生の進路希望等に関するアンケート」から



いづみ 今野 議員(日本共産党)